

令和6年度第9回士別市教育委員会会議録

1. 日 時 令和6年11月27日（水）午後1時30分～午後3時00分
2. 会 場 士別市教育委員会 教育長室
3. 出席者 教育長 泉 山 浩 幸 生涯学習部長 三 上 正 洋
職務代理者 馬 場 千 晶 学校教育課長 岡 田 詔 彦
委 員 加 藤 洋 之 社会教育課長 千 葉 真奈美
委 員 山 田 敦 久 合宿の里・スポーツ推進課長 徳 竹 貴 之
委 員 多 田 千 鶴

4. 議 件（発言者、議事要旨及び議決事項）

1 教育長挨拶

11月も残りわずか、12月も土日と年末年始を除いて20日間となった。今年も佳境を迎えており、残りの期間よろしく願います。

【各種イベント等について写真などを用いて説明】

- ・温根別の学芸会で、昨年からステージと逆側で子どもたちが披露。舞藝舎の支援により行っていた。
- ・東高校の入学説明会で、生徒たちが「この学校の良さは、先生方が自分たちに寄り添って指導してくれる。一緒になってやってくれる」と言っており、とても印象的だった。
- ・上士別中学校で「zoom」により、欠席した子どもも家庭で授業ができるよう取り組んでいた。
- ・11月1日公表の「問題行動調査」では、いじめが4万件、不登校が1万4千件。本人のやる気がない、行く気がないというのが一番の要因。関係機関と連携して行わなければならない。
- ・阿部信子さんが文化賞を受賞。
- ・11月1日に市教研が、小規模校である多寄、朝日、上士別で行われた。朝日の2校に行き、糸魚小3・4年生の算数と、中学校社会科の授業を参観。特に複式の授業では、半分は直接授業、半分は間接授業であり、自学自習できないと成り立たない。
- ・文化祭が文化センター大ホールなどで開催。上士別では保育園、小学校、中学校、高校が発表しており、これが教育活動につなげていく小中校の一貫、連携というところで、うまく繋がれば一貫した教育ができる。
- ・全国学力・学習状況調査では管内別が公表。上川の結果は良かった。
- ・道教委ではキャリア教育やふるさと教育に力を入れている。本市でもふるさと教育に力を入れている。
- ・11月中旬に管内の体育の先生方の研究会があった。最後の助言では、楽しいことも運動では大事だが、何のためにやるのか、どんな力、資質、能力をこの授業を通してやるのかということを評価の観点でしっかりやっていた。楽しいとか達成感があるというのはスポーツの醍醐味だが、子どもたちが授業に入る前と終わった後でどんな力が身についたか、子どもの姿はどうか、しっかり評価しなければならない。
- ・青少年基金造成パーティーで、20万円相当を各学校の図書代としていただいた。
- ・その他、子ども議会チャレンジ応援事業、市P連ミニバレー大会、ふるさと給食、上士別収穫祭などについて情報提供。

2 議事について

○泉山教育長 進行

議案第30号 令和6年度士別市教育委員会補正予算について、説明を求める。

○岡田課長

全部で6本の補正予算があり、すべて人事院勧告に基づく給与改定で、会計年度任用職員の給与改定である。2ページの義務教育振興一般行政経費は心の教室相談員の報酬。3ページは特別支援教育就学事業費で特別支援教育支援員、4ページは日向スキー場職員、5ページはあさひスキー場職員、6ページは図書館職員、7ページが朝日郷土資料室職員の人件費の補正予算となっている。

○三上部長

今年の人事院勧告のベースアップ分が大きく、見込まれてはいたが補正予算で対応するという部分である。

○泉山教育長

人件費についての補正予算はこれでよろしいか。

(全員了承)

○泉山教育長

議案第31号 令和6年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載について、説明を求める。

○岡田課長

毎年行っている全国体力・運動能力、運動習慣調査で、北海道版結果を北海道のホームページに毎年掲載している。ホームページを開くと管内ごとに分かれており、各市町村の状況が出てくる。9ページが令和5年度の内容で、6年度版がこのように掲載されるというものである。あくまでも市町村全体のものとなり、学校毎には掲載されない。

○泉山教育長

この件についてはよろしいか。

(全員了承)

3 その他

◇朝日地区の義務教育のあり方について

○岡田課長

朝日地区の義務教育学校の設置に向けて地区との協議を行っており、現行の学校適正配置計画に基づいて進めている。令和2年10月以降、PTA役員との協議、地域含めた全体の協議を11月まで実施。これまで「義務教育学校」として地元に残してほしい、という意見が多くあり、朝日中学校2線校舎と糸魚小学校校舎を使用することで進めていたが、工事費が増大することなどから一旦見直しもあった。その間、予想より出生数が減少し、糸魚小の校舎だけを使用だけで足りる可能性があることから、今年度5月以降、4回の説明会を開催。11月の説明会では、校舎の利用についての案、移行に伴う業務案、タイムスケジュール案について説明を行ってきた。

児童生徒が安心して過ごせる環境、教職員の業務にかかる負担を最小限に抑えた環境を整備したいと考えており、義務教育学校として教職員の人員面のメリットを最大限に生かした教育の実現が可能になり、糸魚小校舎の利用で最小限の経費で最大限の教育効果が得られると考えている。

◇温根別小学校について

○岡田課長

温根別小学校に関する協議要望について、5月に要望書の提出があり、11月5日には温根別小学校開校120周年記念協賛会から要望書が提出された。開校120周年記念式典と閉校式典を同期日での開催を希望する内容であった。

◇第4回定例会一般質問について

三上部長説明

◇当面する今後の日程について

三上部長説明

午後3時00分、会議の終了を宣した。

この会議は、会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため署名する。

署 名 者

泉州浩幸

会議録調整者

岡田 詔彦